



Fun Garden もっと庭を遊ぼう! Ideas

庭づくりは、一戸建てならではの楽しみ。
屋外空間の充実が家での過ごし方を格段に広げてくれます。
一方、積極的に庭を楽しんでいるよ!という方から、
庭づくりをしてみたいけど、
どこから手をつけたいかわからない、とか
子供が小さい頃はよく庭に出ていたけれど最近使っていない、とか
毎日忙しくてなかなか庭まで手が回らない、など
庭との関わり方は、ご家庭ごとにさまざまなのではないのでしょうか。
かつて日本の住宅は、
里山の近くで自然と共存し四季の変化を暮らしに取り込んでいました。
現代において庭は、もっとも身近にある自然であり街並みへの調和と彩りをもたらします。
何よりも家全体のイメージにも直結しています。
いま庭を活用しているひと、
そうでないひとを改めて庭との関わり方を考えてみませんか?
そしてもっと家を楽しみ、魅力的に見せるためにも
庭を遊んでみましょう!

撮影 = 堅山 哲 Satoshi Tateyama
文 = 中西 理恵 Rie Nakanishi



Fun Garden Ideas 3

庭でゆったり 過ごしてみる。

風や緑の香りを感じながら、読みたかった本を読んだり昼寝をしたり…。何も無い穏やかな午後に庭で過ごしてみませんか？

ステンレステーポットセット／¥3,200、レジャーシート／¥2,600、マグボトル／2,400、スープマグ／¥2,400、パラソルタープ／¥16,000、ホローマグカップ／(M)¥2,600、(L)¥2,800(すべてインテリアショップ Life鹿児島店)



Fun Garden Ideas 5

ナイトガーデンを 楽しむ。

夜のウッドデッキ、何か物足りない感じがしませんか？ そんなときは照明をプラスしてみましょう。光の演出は、室内から見ても楽しめます。簡単に設置できて、太陽光で充電できるLEDソーラーライトは、さまざまな形ものが販売されています。また、電池式で火を使わないあかりは小さなお子様やペットのいるご家庭におすすめ。

秋の夜長、ライトアップで夜のガーデンを楽しんでみましょう。



虫除け対策に、虫が嫌うシトロネラの香りのキャンドルを灯して。



Fun Garden Ideas 4

外で食事を してみる。

いつもの食事を外で楽しんでみませんか？ 普段と変わらないメニューでも、家の中と外では全然違うもののように感じます。花が咲いていたら摘んで飾るのも良いですね。



フォルディングテーブル／¥6,500、フォルディングチェア／¥5,000(1脚)、ガラスのティーカップ&ソーサー／¥1,000(1套)、ステンレステーポットセット／¥3,200、ティータオル／¥1,400(すべてインテリアショップ Life鹿児島店)ハンモック／Hammock2000

Fun Garden Ideas

もっと庭を遊ぶ、5つのアイデア

ガーデンスペースを特別な空間ではなく、もっと身近に感じられるアイデアを紹介します。



シンプルパパーシュ／¥4,000(L)、¥4,300(3L)、ラウンドバスケット／¥2,800(すべてインテリアショップ Life鹿児島店)

Fun Garden Ideas 1

さっとデッキに出れるようにしておく。

せっかく作ったデッキスペース。気軽に出れるように、外履き用のスリッパを窓際に準備しておきましょう。革製のパパーシュなら、踵が無いのでさっと履けて、汚れても固く絞った布で水拭きできるのでオススメ。カゴにざっくり入れて窓際に置いておくと、使う時すぐに取り出せます。



英国の老舗HAWESのミニジョーロ(¥1,300/私物)。プラスチック製で軽く、真鍮製のシャワーヘッドからは網糸のように柔らかな散水ができます。



Fun Garden Ideas 2

気分を盛り上げる 道具を揃える。

猛暑が落ち着いてきた今、ガーデニングを始めるのに良い季節がやってきます。スタイリッシュでキュートなアイテムがあれば、さらにガーデニング熱が高まって作業がはかどりますね。



バラなどのつる性植物を誘引する時に必要な紐は、ガーデニングで必須アイテム。ゼニール製ではなく、自然に選べるナチュラルな麻紐を使いたいですね。NUTSCENE はさみ付き麻紐スタンド(私物)



テレンス・コンラン脚の愛娘、ソフィ・コンランデザインのガーデンツール。手馴染みが良く、作業しやすいようにデザインされています。パッケージもお洒落なので、プレゼントにも。SOPHIE CONRAN for Burgon&Ball ハンドスコップ、ステンレスフォーク、コンポストスコップ(すべて私物)

Ideal Garden Taste

あなたの理想はどんな庭？

さて、あなたは庭とどんな関わり方をしたいですか？

あなたが描く理想の暮らしのイメージの中で、「庭」はどんな役割を担っていますか？

四季折々の草花を、家の中から愛でることができる庭。

収穫の喜びや、飾る楽しさを得られる庭。たくさんの人を迎えるおもてなしの庭…

ヤマサハウスでは庭の目的を「眺める」「迎える」「過ごす」に分類し、

パッシブ(能動的)から、よりアクティブ(活動的)な使い方で、

住まう人のライフスタイルに合った庭づくりをご提案しています。

Taste 3

「紅葉を楽しむ庭」

小さくても日本らしい樹木をあしらい、独特の世界観を演出する庭は安らぎを与え、心を和ませます。忙しい毎日の合間にふっと心が安らぐ、「静の庭」。重なり合う枝葉、その隙間からこぼれる光。何ともいえない落ち着きとくつろぎの雰囲気醸し出され、時を経るごとに深く刻まれる陰影が、さらに記憶に残る空間となります。



■モミジ

落葉樹 / 紅葉は11月頃。紅葉する木の代表種。新緑の頃の木漏れ日も、爽やかな緑色が大変美しい。半日陰の場所が適しています。



■ナツハゼ

落葉樹 / 花期は5月～6月(赤みのある黄緑色の花)果実もジャムなどにできます。夏にも紅葉することからこの名がつけました。



Taste 4

「食を楽しむ庭」

手作りが好きで、季節や食を豊かに楽しみたい方に。家庭菜園や、食べられるハーブや花を育てましょう。収穫する楽しさと、食の楽しみを育む庭づくりをご提案します。ジャムを作ったり、薬味に使ったり…ライフスタイルの楽しみ方が広がります。自ら育てたものを食べることは、お子様にとって良い食育の機会にもなるでしょう。



■ジュンベリー

落葉樹 / 花期は4月～5月頃(白い花)。実は6月に収穫できることからJuneという名前に。完熟果実は生で食べても美味しい。



■ブルーベリー

落葉樹 / 花期は4月～10月頃(白い花)。春には釣鐘状の花、夏に熟す果実はジャム等にでき、秋には美しい紅葉が楽しめます。



■ハナミズキ

落葉樹 / 1本立ち。花期は4月～5月頃(白や赤色の花)。紅葉も見事で花付きが良く、赤い実も可愛らしい。シンボルツリーの定番。



■フィリイボタ

常緑低木 / 5月頃枝先に白い小花をつける。日当たりから明るい半日陰まで、土質は選ばず強健、刈込にも耐える。生垣や緑取に向く。



Taste 5

「陽だまりの庭」

庭はもう一つのリビング! デッキやテラスで食事をしたり、お茶を楽しんだりしたい。友人たちを招いてバーベキューやパーティーをしたい。夜は明かりを灯してゆっくり過ごしたい。アクティブに家族や友人たちと、庭のある暮らしを楽しみたいあなたに、自然と庭に出たくなる庭づくりをご提案します。

Taste 1

「和みの庭」

小さくても日本らしい樹木をあしらい、独特の世界観を演出する庭は安らぎを与え、心を和ませます。忙しい毎日の合間にふっと心が安らぐ、「静の庭」。重なり合う枝葉、その隙間からこぼれる光。何ともいえない落ち着きとくつろぎの雰囲気醸し出され、時を経るごとに深く刻まれる陰影が、さらに記憶に残る空間となります。



■ソヨゴ

常緑樹 / 花期は6月。鮮やかな緑色の葉っぱが風にそよぶ姿が美しく、秋には赤い実を付けますが、食べられません。



■マンリョウ

常緑樹 / 果実期は11月～1月。冬につける赤い果実と緑のコントラストが美しい。お金にまつわる縁起の良い木としても知られています。



Taste 2

「野の花を楽しむ庭」

自然樹形の雑木と、季節ごとに姿を変える草花たちは、ずっと前からそこにあったように四季折々の表情を見せてくれます。それは、住まう家族と訪問者を迎える風景。また草花を摘んでインテリアに取り入れると、部屋の中でも季節感を演出することができます。どこか懐かしい日本の風景を庭に取り入れて穏やかで心が落ち着く居場所をつくりたい。



■エゴノキ

落葉樹 / 梅雨時に白い清らかな微香の花が咲きます。幹が大きく曲がり、根元から何本も株立ちするので樹形が独特です。



■ユキヤナギ

落葉樹 / 花期は3月～4月。春、枝垂れた枝先の長い穂に、たくさんのお花を咲かせてひととき目を引きまします。切り花としても利用できます。

Let's Try Pruning Tree

木の剪定をやってみよう!

木は伸びすぎると採光性が悪くなり、下に生えている植物の生育が悪くなってしまいます。
また、道路や駐車場、お隣の敷地に枝が伸びて迷惑をかけてしまうことも。
美しく健康的な樹形を保つためにも、剪定をやってみましょう。



剪定時期は樹木によって異なります。一般的に常緑樹は5～6月と9～10月、落葉樹は7～8月と11～3月、花木は秋から春または花が咲いた後が良いとされています。

〈剪定の基本〉

- ①まず枯れ枝や病害虫に侵された枝、生育上不要な枝を取り除きます。
- ②次に通風や採光などの障害になる枝、最後に樹形を整える枝葉を取り除きます。

- 頂枝(シン)は一つにする。混みすぎた枝を切除する。
- 枯れ枝や、病害虫に侵された枝、からみ枝、逆さ枝、ふところ枝などを切って通風や日当たりを良くする。
- 樹木の幹や枝から真上に向かって積極的に伸びる枝を徒長枝という。その徒長枝や、胴吹き枝、ヤゴなどは樹勢を衰弱させるので切る。
- 同じ方向に伸びる上下2本の枝となる平行枝は、バランスを考えてどちらかを切除する。また、一ヶ所から四方に伸びる車枝は整理する。

樹木全体としては、枝を同一方向にばかり向けないこと、また毎年、枝の同じ位置で切らないこと。そして、強い枝は短く、弱い枝は長く残すことが基本です。
【参考／一般財団法人 日本緑化センター】

剪定というひとつのきっかけで、その樹木を見守るようになると思います。
愛着のもてる庭になると、きっと家族の大切な記憶として残るでしょう。
ぜひ、思い出を育む庭にしてみませんか。



③ 樹幹付近から伸びた「ふところ枝」は、害虫の温床となることもあるので、付け根から剪定する必要があります。



② 幹の方向に向かって伸びた枝を「逆さ枝」といいます。これを根元から切ります。



① まず枯れ枝を切ってしまいましょう。



④ 幹がしなる樹木の場合、高く切りにくいところの枝は、手前に倒して剪定しましょう。



⑤ 樹形を整えるように、枝葉を剪定します。



⑥ 空が見えるようになりました。



Copse & Open Field

庭に「雑木林」と「原っぱ」をつくろう!

昨今「雑木の庭」が人気です。

雑木とは、栽培管理されている樹木と異なり、広葉樹を主とした様々な樹種が入った自然界の樹木のこと。

雑木の庭は、ナチュラルな雰囲気演出するだけでなく、風の強さを調節し、

夏には木陰を、冬には落葉して暖かな日差しを届けてくれます。

自然に成長し、日々変わっていく庭。どこか懐かしい自然の風景を楽しんでみましょう。

原 Open Field



大きな木だけでなく、グラウンドカバー、下草を。四季折々の野の花を楽しむ「原」は、生態系を形づくり植物の息吹を促します。

●保湿力を高める

コケや多孔質の溶岩が地表面の水分を保ちます。年月とともに馴染んで味わい深く魅力を増していく庭。そこにはおだやかな時間の流れを感じます。

●季節の訪れを知らせる多年草

植えっぱなしでも毎年楽しめる多年草はお手入れも簡単。また、一般的に庭の管理で大変な雑草も自然の一部として上手に景観に取り入れましょう。

林 Copse

風に揺れるやわらかな印象の雑木で木漏れ日をつくる「林」。植物が、人に心地よい環境をつくります。

●空間をつくる

自然のまま育った雑木は下枝が少ないのが特徴です。人の活動スペースを邪魔せず、人に心地よい環境をつくり、その上に広がる枝葉によって優しい木漏れ日を楽しめます。

●天然クーラー

夏、雑木の枝葉が木漏れ日をつくることで、地表の温度上昇を防いでくれます。すると日なたと木陰との温度差から風が生まれ、さらに葉っぱの蒸散作用によって住まいの中に自然の冷気が流れ込みます。

●天然カーペット

秋には葉が落ちて、冬の暖かい陽射しを室内に。雑木の庭では、腐葉土や堆肥になる落ち葉はゴミではありません。庭の土壌を再生する貴重な資源として捉えてみましょう。

鹿儿島本店のお庭も、5つのテイストで生まれ変わりました!

これからどんな風に育っていくか、楽しみな庭になりました。

